

留学体験レポート

国際学部 2年 櫻井陽奈

1. はじめに

私は4か月間アメリカのセントラルミズーリ大学に留学しました。幼い頃から海外に興味があり、いつか行けたらいいなと思っていました。この4か月間は自分の人生にとってとても貴重で、英語をさらに学びたいと思うきっかけになりました。このレポートではアメリカでの生活や授業、課外活動についてまとめたいと思います。

2. アメリカでの生活

大学にある寮に NUIS の学生と二人一部屋で住みました。寮の中には洗濯機やキッチンがあるのですが、数に限りがあるため空きが出るまで少し待つ場合があります。食事はミールプランに入っていたので、お腹がすいたら食堂に行って好きなものを食べていました。内容はアメリカらしくポテトやハンバーガー、ピザやパンケーキなどもありました。たまにアメリカの食事に飽きたら、日本から持っていったサトウのごはんをキッチンで温めて食べたりしました。また毎週決まった曜日に大型のスーパーへのバスが出ていました。そこでは日用品やお菓子など必要なものは全て購入できます。

3. 授業について

最初にテストを行いクラス分けされます。授業は週5日でほぼ毎日課題が出ました。また、授業時間が2時間の教科もあるため日本にいる時よりも大変でした。授業は全て英語で先生はネイティブの方々なので、最初は聞き取ることも理解することもできず戸惑いました。ですが、毎日課題や授業をこなしていくうちに理解できるようになりました。同じクラスの生徒は韓国やインドネシアなど様々な国から来ていて、休憩時間などにはよく話しました。

4. 課外活動について

アメリカには11月に Thanksgiving (感謝祭) があり、学校が1週間ほど休みになります。私はこの休みを利用して友人とニューヨークへ旅行に行きました。この旅行がアメリカでの1番の思い出です。もちろん大学での生活も刺激的でしたが、ニューヨークでは自分の見たことないものばかりでした。地下鉄に乗った時はサクソフォンを演奏している男性に乗客が当たり前のようにチップを渡していました。タイムズスクエアでは着ぐるみを来た人たちから何回も声をかけられました。日本ではありえないことばかりで驚きましたが、買い物や食事は本当に楽しかったです。ブルックリン橋を渡ったりブルックリンで買い物したり、トップ・オブ・ザ・ロックからニューヨークの夜景を見たり

と、全てが一生の思い出になりました。

5. おわりに

4か月間アメリカで暮らして、様々な国の人と関わることの面白さ、英語を話すことの重要性、自分の国の良さについて気付くことができました。また自分の英語力が他の国の同年代の人たちと比べ、とても低いということも痛感させられました。この留学で学んだ多くのことをこれからの人生で役立てていきたいと思います。また、この留学を支えてくれた家族や先生方、友人などに感謝したいです。これからも英語や世界について学び続けたいです。

